

## G4Mac 再起動アダプタ使用説明書 Ver.2

アンダーラインが今回変更した部分です



### 概要

- G4Mac再起動アダプタは、Macがフリーズ・ロックしたときに強制的に再起動を行う装置です。
- 外部に接続したスイッチ操作により、Mac本体のリセットボタンを押す操作を行うことができます。
- 操作用スイッチは Ke:nx など入力補助装置の操作用と兼用でき、スイッチを長く押し続けたとき(長押し)、または間隔をあけずにオンオフを繰り返したとき(連打)に再起動動作になります。
- 入力補助装置接続用のジャックを備えています。
- 動作状態を音とランプで確認でき、再起動動作前に予告が行われるため不用意に再起動を行うことを避けられます。
- Mac 本体へドライバやソフトをインストールする必要はありません。また、本体へ改造を加えないため、取り外せばもとの状態に戻すことができます。
- 電源は Mac 本体の USB ポートより得るため、AC アダプタ等は不要です。

### 各部の名称と機能

#### ◇ 前面



- スイッチジャック  
操作スイッチを接続します
- Ke:nx 接続ジャック  
Ke:nx の入力と付属ミニプラグコードで接続します
- 状態表示  
動作状態を表示します

#### ◇ 背面



- Mac 接続ジャック  
Mac 本体背面に取り付けたパネルと付属のミニプラグコードで接続します
- USB ジャック  
Mac 本体または USB ハブの USB ポートと付属の USB コードで接続します

◇ 付属品



PCI パネル



内部接続コード



ミニプラグコード x2



USB コード

◇ ケース内部 (調整が必要な場合)



時間設定

操作方法 / 回数設定

長押し操作 再起動動作に切り替わる時間(スイッチを押す長さ)を設定します

「0」に設定します

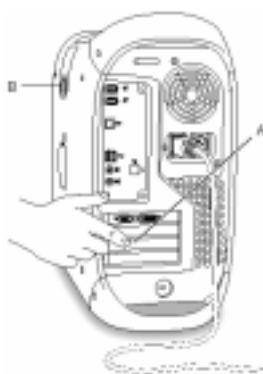
連打操作 連打のスピード(スイッチオフから次のオンまでの時間)を設定します

連打回数を設定します(1~7)

数字 + 1回連打すると再起動動作となります

設置方法

➤ Mac本体の作業(扱いになれた人に依頼してください)



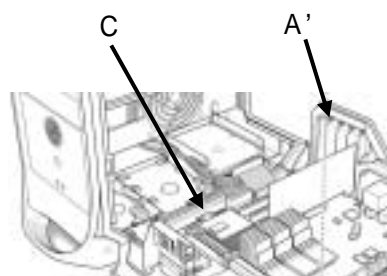
A: PCI カバー

Mac 本体の金属部に触れて人体の静電気を逃がします



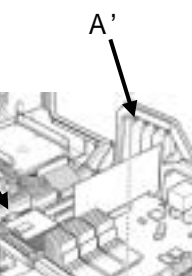
B: ラッチ

本体右側にあるラッチを持ち上げるとパネルが開きます



A': PCI パネル

PCI パネルのどれかを付属品のパネルと交換します



C: コネクタ

コネクタを基板から抜き、内部接続コードをつなぎます

➤ コード類の接続

◇ スイッチジャックへ操作用スイッチを接続します。(スイッチは付属しません)

Ke:nx のスイッチボックスにつながっていたスイッチを一旦外し再起動アダプタの「スイッチ」ジャックに差し込みます。

- ◇ 再起動アダプタの「Ke:nx」ジャックと Ke:nx スwitchボックス間を付属のミニプラグコードで接続します。
- ◇ 再起動アダプタの「Mac」ジャックと Mac 本体に取り付けた PCI パネル間を付属のミニプラグコードで接続します。
- ◇ Mac 本体または USB ハブの USB ポートと再起動アダプタの USB ジャックを付属の USB コードで接続します。
- ◇ Mac を起動し Ke:nx が今までどおり使えることを確認してください。

#### 操作方法1 ~長押し操作~

- 内部のダイヤルを「0」にあわせると長押し操作に設定されます。
- スイッチを押すと、再起動アダプタのランプが緑色に点灯し、Ke:nx が動作します。スイッチを離せばランプは消え待機状態となります。通常は従来どおりの方法で Ke:nx を操作します。
- Mac がフリーズやロックを起こした場合、スイッチを押したままにすると、約3秒(時間設定で変えられます)後にブザーがピピピピと鳴りランプが橙で点滅します。これは予告状態で、再起動動作に先立って注意を促します。
- 予告状態は約1秒間続きます。この間にスイッチを離せば再起動動作は行われず待機状態に戻ります。
- 予告の1秒が過ぎるとブザーが長めにピーと鳴って Mac 本体のリセットボタンが押された再起動状態になります。
- 再起動状態ではランプは赤く点灯し、ブザーは長い間隔でブ、ブとなります。
- スイッチを押している間リセットボタンは押されたままになっています。Mac がリセットボタン操作を受け付けたことを確認したらスイッチを離します。
- スイッチを離すと待機状態に戻ります。

#### 操作方法2 ~連打操作~

- 内部のダイヤルを「1」~「7」にあわせると連打操作に設定されます。
- スイッチを押すと、再起動アダプタのランプが緑色に点灯し、Ke:nx が動作します。スイッチを離せば Ke:nx 出力はすぐにオフになりますが、ランプは一定時間(時間設定で変えられます)点灯したあと消えて待機状態となります。
- Mac がフリーズやロックを起こした場合、ランプが緑色に点灯している間に再びスイッチを押す操作を繰り返します(連打)。内部ダイヤルで合わせた数字の回数連打を行うとブザーがピッと鳴り、ランプが橙で点灯します。これは予告状態で、再起動動作に先立って注意を促します。

- 予告状態はスイッチを離した後一定時間続き、その後ランプが消えて待機状態に戻ります。この場合は再起動動作は行われません。
- 予告状態でもう一度スイッチを押すとブザーが鳴り、ランプが赤に変わって Mac 本体のリセットボタンが押された再起動状態になります。
- スイッチを押している間リセットボタンは押されたままになっています。Mac がリセットボタン操作を受け付けたことを確認したらスイッチを離します。
- スイッチを離すと予告状態に戻り、一定時間後待機状態に戻ります。

設定方法（アダプタケースのふたを開けて行います）

- 操作方法 / 回数設定ダイヤルで長押し操作か連打操作かと連打操作の回数を設定します。
- 長押し操作を行う場合ダイヤルを「0」に合わせます。
- 連打操作を行う場合ダイヤルを「1」～「7」に合わせます。（「8」「9」は不使用）「1」に合わせた場合2回連打、「7」に合わせた場合8回連打で再起動動作が行われます。
- 長押し操作の場合、再起動動作の予告状態に切り替わるまでの時間（スイッチを押す長さ）を時間設定で設定します。つまみを左に回すと時間が長くなります。
- 時間は0秒から約11秒まで設定できます。
- 再起動動作が行われるまでの時間は切替時間に予告時間が加わります。切替時間を3秒に設定した場合、スイッチを押す長さは4秒です。予告時間は約1秒で固定です。
- 連打操作の場合、時間設定はスイッチを離したあとランプが緑に点灯し続ける時間を設定します。再起動を行うにはこの時間内にスイッチを再びオンにする必要があります。短すぎると連打と認識されなくなります。長すぎると通常の Ke:nx 操作で再起動が発生しやすくなります。